



令和3年度決算を 議会が厳しく チェック!!

令和4年決算特別委員会は、9月12日に議長及び議会選出監査委員を除く16人で設置され、委員長に新井みゆき委員、副委員長に藤生吉顕委員を選出し、審査を行いました。

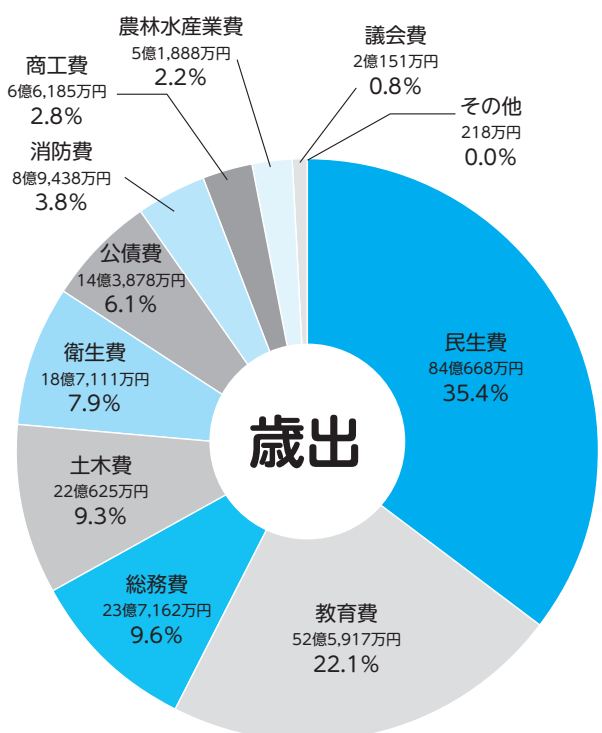
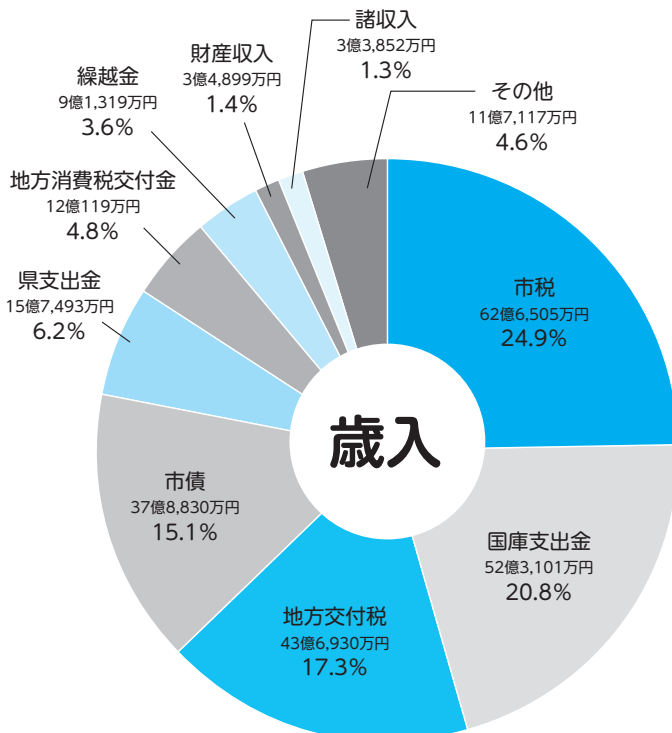
決算審査は、前年度の予算が目的に沿って適切に使われているかどうかを審査し、改善や要望を市に伝え、今後の予算や事務執行につなげる重要な役割を担っています。さまざまな視点で質疑をし、白熱した議論を交わしました。



新井 みゆき 決算特別委員長

令和3年度 決算概要

令和3年度一般会計決算	入ってきたお金	使ったお金
合計（内訳は下のグラフの通り）	252 億 165 万円	237 億 3,241 万円



コロナ禍での決算状況は？

Pick up

職員研修事業 【総務課】

問 高度な専門知識などを養うため、外部研修へ職員を派遣しているが、その効果は。

答 それぞれの階層で求められる知識や技能の習得を行うため、階層ごとの研修を行っており、職員に必要な専門的な知識および技能向上のため、職員全体を対象に特定の事項に特化した特別研修を実施することで、専門知識を深めることができた。



成年後見制度利用支援事業 【介護高齢課】

問 成年後見制度が利用できるまでの流れは。

答 成年後見制度は4親等内の親族がいるか確認し、いない場合は支援の内容を検討する。福祉サービスの提供のみであれば老人福祉法に基づく措置が受けられ、財産管理などの支援が必要な場合は家庭裁判所に後見人または補佐、補助などの開始の申し立てを行うという流れになっている。



子育てアプリ情報提供事業 【こども課】

問 子育て応援アプリ「みどりん」登録者に向けての情報提供内容と、令和3年度における課題については。

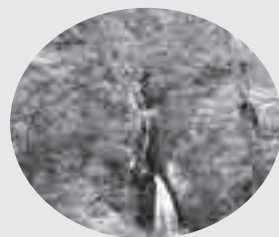
答 各種情報提供のほかに、アプリでは保育施設などの空き情報検索、予防接種のスケジュール管理、子育て日記の記録などが可能。令和3年度の課題としては、登録者数が少なかったことであり、周知不足であったと考えている。



観光キャンペーン事業 【観光課】

問 コロナ禍の中での事業の効果や課題については。

答 観光に対する旅行者のニーズがコロナの影響により変化してきているため、個人旅行などに焦点を当て、ターゲットを絞った中でPRを進めていきたい。本市が観光の目的地になってみどり市に行ってみたいと思わせるような事業展開をこれからしていきたいと考えている。



小平の里、サンレイク草木維持管理事業 【観光課】

問 小平の里、サンレイク草木の今後は。

答 小平の里については、旧福岡地域の主要な観光施設であり、地域おこし協力隊もいる浅原体験村を含めた連携事業について検討中。サンレイク草木については、建設から40年を経過する施設であるため、建て替えの方で調整を進めている。



英語力向上対策事業 【学校教育課】

問 デジタル教科書を導入した効果と今後は。

答 小学校5年生以上にデジタル教科書を導入した。映像などを活用することで効果的な活用ができている。子どもたちは発音の学習もでき、大変有効に活用されていると学校から報告を受けている。引き続き使えるように計画をしていきたい。

